

加古川市ボランティアセンターでは、地域で活躍するボランティアの人材育成や、ボランティアを依頼したい人とボランティア活動をしたい人の橋渡しを目的として、つながりバンクかこがわを発行しています。

情報や人とつながるスマホ講座

～ボランティアに役立つアプリ・カメラ活用法～

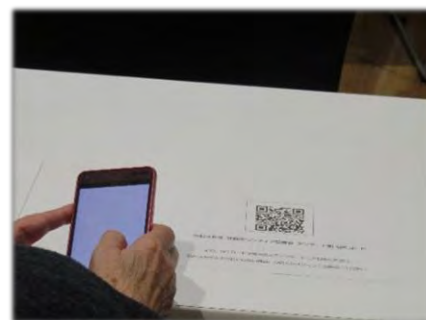
令和4年1月18日（火）に登録ボランティア向けの研修会を開催しました。今回のテーマはスマホです。Web コンサルタントの増田真人さんに講師としてお越しいただき、スマートフォンのさまざまな機能をボランティア活動に生かすための活用法を学びました。



講演では、スマホのカメラできれいに写真を撮る方法や、乗換案内を使って活動場所までスムーズに移動する方法、ネットショッピングを活用した活動資材の購入などについて、実際にスマホを操作しながら説明してもらいました。「便利な機能があっても使いこなすのはちょっと…」という方も具体的にイメージができたのではないのでしょうか。



研修会の最後には、研修会で学んだ二次元コードを読み込んで、アンケートへの回答にチャレンジしてみました！慣れない操作に苦戦しながらも、なんとかアンケートに回答されたボランティアさんの表情には“達成感”が感じられました。



参加者の声

- 💡 今まで使ったことのない機能も使ってみようと思った。
- 💡 ボランティア活動に活用できる便利な使い方があるとわかった。
- 💡 カメラ機能を活用してグループの活動記録を残そうと思った。

令和4年度も、引き続き、感染対策を徹底したうえで、さまざまな講座を開催しようと企画中です！

最新の情報は、社協だよりやホームページ、ブログなどで発信していきますので、チェックしてみてください。

ボラセン「ログ」 随時更新中

スマホなどで二次元コードを読み取るとボランティアセンターのブログを見ることができます！



加古川市ボランティアセンター ブログ



ボランティア活動に関するアンケート

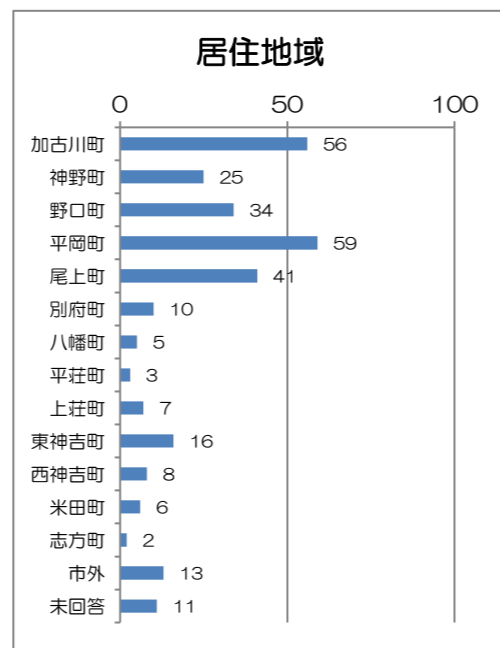
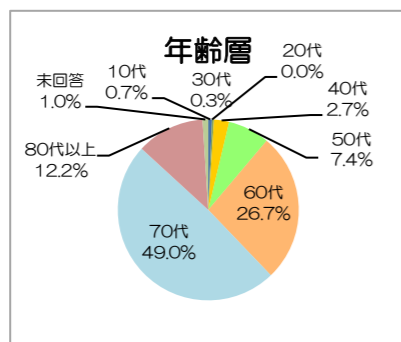
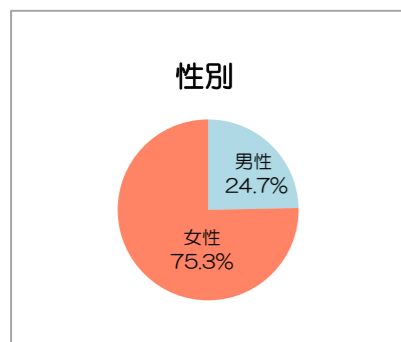
加古川市ボランティアセンターでは、センター登録グループのみなさんを対象にアンケート調査を実施しました。ボランティア活動ってどんな人がしてるの？どんな活動してるの？コロナ禍でのボランティア活動ってどうなの？数字で見えるボランティア活動。ぜひ、ご自身の活動の参考にしてみてください。



センター登録グループ 全 36 グループ/620 人
 回答者 296 人 回答率 48%
 アンケート実施期間 2021 年 6 月 30 日(水)~7 月 30 日(金)

！グラフィックに(※)表記のあるものは、複数回答可の設問です。

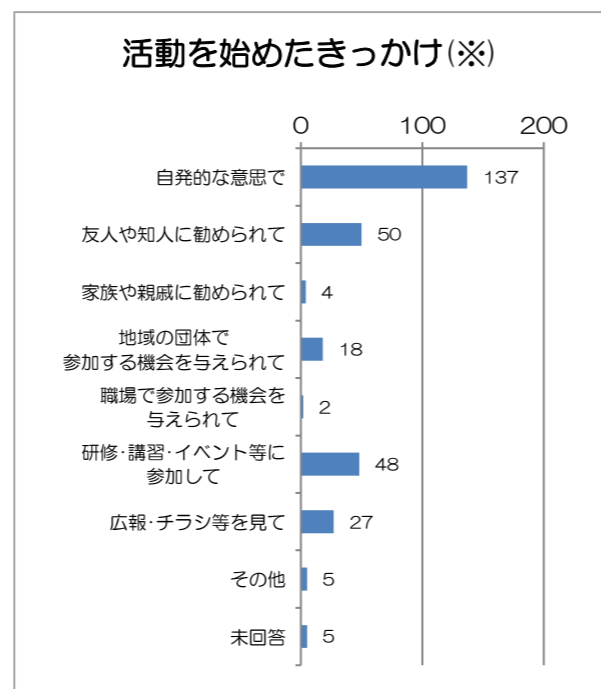
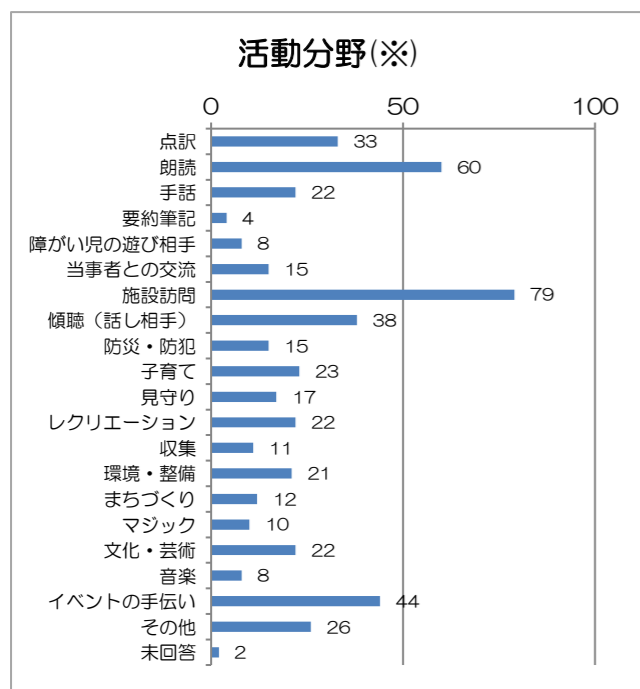
基本データ



男女比は「女性」が 75.3%、「男性」が 24.7%で、「女性」の割合が高く、年齢層は、「70代」が 49.0%と最も高い割合です。

居住地域は、「平岡町」が 59 人と最も多く、次いで「加古川町」56 人、「尾上町」41 人です。また、市外の回答者は 13 人となっています。

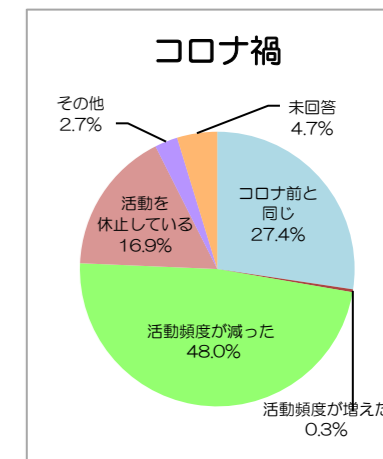
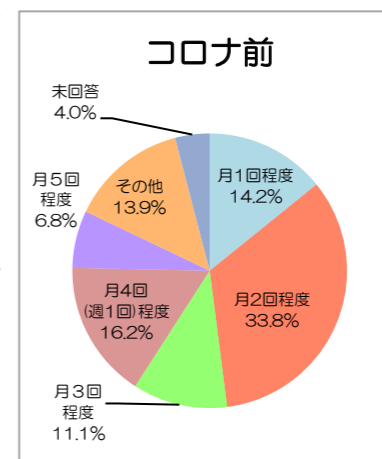
主な活動分野、活動を始めたきっかけは以下のとおりです。



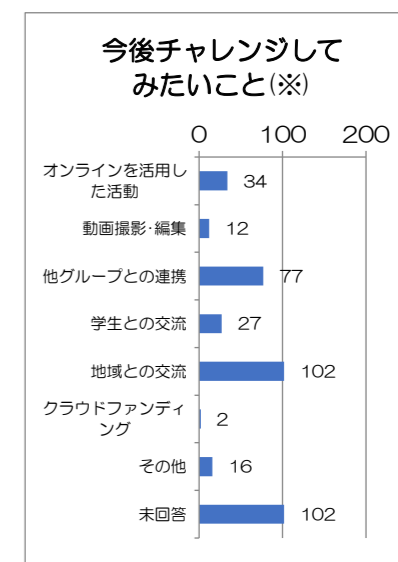
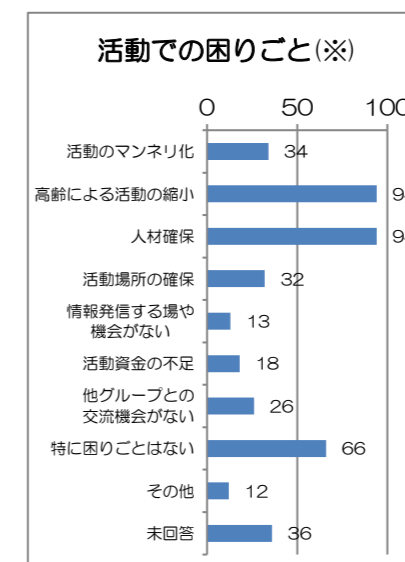
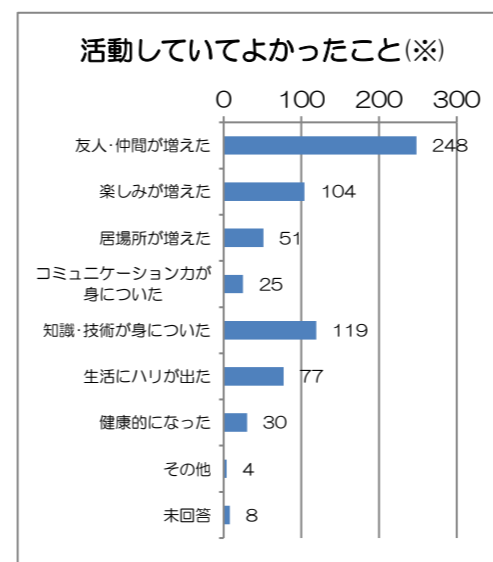
新型コロナウイルスの影響

感染拡大により、生活様式が一変し、ボランティア活動にも影響が及びました。センター登録のグループは、相手があってこそその活動が多く、活動を中止せざるを得ない状況が続きました。

まだまだコロナ前と比べると制限が多くなかではありますが、ワクチン接種も進み、感染対策を徹底し、自分たちのできる範囲での活動を試行錯誤しながら、徐々に活動を再開しています。



ボランティア活動の現状



印象に残っているエピソード

- ・活動を続けて 18 年、その間、病気や家族のことで活動の継続が難しいこともあったが、仲間の助けで今日まで続けることができています。
 - ・被災地でのボランティア活動は貴重な経験だった。
 - ・医療従事者への感謝を絵手紙で届けることができた。
 - ・オカリナ演奏でみんなが楽しく元気に歌ってくれて、とてもうれしく元気をもらっている。
 - ・障害があり受け身でいたが、自分にできることが見付き、参加者と一緒に楽しめることが嬉しい。
 - ・小学校への指導に行き、子どもたちが真剣に学んでくれることがやりがいにつながる。
 - ・視障協会との交流。話しているときの明るい表情が印象的。
- ※その他、紙面に載せきれないほどたくさんのエピソードをお寄せいただきました。

今回のアンケート結果を参考に、みなさんにとって、より身近な存在になれるよう、センター機能の充実を進めていきたいと思っております。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました！



長きにわたり、ボランティア活動に

ご尽力いただきありがとうございました！



令和3年度をもって2つのグループが活動を終了します。

どちらのグループもこれまで20年以上、活動を続けてきた歴史があり、地域にとって“なくてはならない存在”となっていました。活動終了には寂しい気持ちもありますが、今後も、ボランティアセンターとのつながりは継続してもらえるとうれしく思います。これまで長い間、本当にありがとうございました！

朗読グループこだま（昭和58年発足）

私たち朗読グループこだまは、「読書案内」「社協だよりかこがわ」加古川市鍼灸マッサージ師会月報「三療こだま」の音声図書制作を中心に活動してきました。「三療こだま」では、難解な専門用語を調べたり、師会の皆さまに指導を受けたり、懇談をしたりと、楽しい交流がありました。



活動で大切にしてきたこと

腹式呼吸、発声練習、マイクに音を乗せる方法など、初歩から先輩方に教わり、しっかり息をして息に乗せて読む、声の強弱ではなく高低で読む、読むのではなく伝えると順々に教わっていきました。

メンバーが順次入れ替わっても「本文の内容を正しく伝え、聞き手に押し付けず邪魔をせず、聞き手の想像力にゆだねる」音訳を心がけてきました。



視覚障害者福祉協会の皆さまとの研修バス旅行や青い鳥学級も実りある経験となりました。これまで活動を支えてくださった皆さまに心から感謝申し上げます。

ひよっこ（平成11年発足）



私たちは、ボランティアセンター主催のボランティア養成講座を受講した仲間14名で子育て支援ボランティア「ひよっこ」を立ち上げました。

活動目的：障がい児を持つ親と障がい児の社会参加の支援

活動内容：各サークルの活動時の託児、障がい児の活動補助、

加古川中央市民病院小児病棟の壁画制作(季節ごとに交換)

以降22年間、途中からは壁画制作に活動を絞り現在に至りました。



活動を振り返って印象に残っていること

外出が難しい病棟のお子さんたちに少しでも季節の訪れを感じてもらえればと、アイデアを出し合いながらの活動でした。壁面の飾りつけに参加していた時、入院患者の方々とお話しする機会もあり、新しくなった壁画に喜んでもらい感謝され、私たちも達成感を感じるひとときでした。

直接お会いできない時期も、お手紙をいただき、私たちの活力となりました。これまでお世話になった皆さま、ありがとうございました。



問合せ先 加古川市ボランティアセンター

〒675-8577

加古川市加古川町寺家町 177-12 加古川市総合福祉会館内

T E L : 079(424)4318(代) F A X : 079(425)4711

H P : <http://www.kakogawa-shakyo.jp>

E-mail : kakogawa-vc@kakogawa-shakyo.jp

ブログ : <http://d.hatena.ne.jp/kakogawavc/>

ツイッター : @kakogawaVc



ボランティアセンター
ホームページはこちら

